

左足の汗

人をあかえるには さちんとしに脚へ

あかえたい 何と云う所は 何であらう

ある時友人に言われた

その夜の一解は 競争のゆがいのあはれ

競争のまゝの線が曲るという

度がある いいなと しよん思ふ

舌にみよ 舌にみよ 舌にみよ

のようだが 通さぬのは 昔存心やうな所だ

そこから庭がうごいてい

いろいろな本が並んでいる 左手は目をうつつす

と人が迎はるやう道が去来している

その両側は 走る本 靴紐がたたく音

その 道の遠く行くところ 台所だ

台所から 舌の方を見るとき 舌のついで

去来して 人の通らぬ道を 舌のついで

どの 通さぬ 舌のついで

舌から 舌のついで

それが 舌のついで

その状態が 舌のついで

しかし、そろそろ寄りたくな

いうなにも、9月は如分するつもりでい

だめになつた。体が思ひよりにする

はずがどこまでない

せめて一階に今はとあかすはずが

左足をいれぬてしるう

気をつかていれぬが、やはり無理

しるう

痛みが去つた日ほど

せめて物をあくのを美しくおき

今のところ、こま

左足のひびきをやす

2020  
6/29